



何れもいふにやれと人につらき事なりしか
 らしむるを平らむまじき事ありつらき事なり
 丹波をわたりていづれをいふれぬものあり
 ありてはまゝ天もこれと人とのまじき事なり
 海へ物人の位ありく備をいふも
 ゆゑなり

天明丙午春 東台岳北郡田舎法

かどやかひまや一

春の低小春の

三月の氣

物と加ふと

かたはゆりか

ていふか

かちか

これと

かちか

かちか

かちか

勝川春章回





加平なふ才四

お甲及らり
休むべし神がりとも

退付記

あまの
い

休む

五月

北尾重政画

北尾重政画

Shigenaga



眠起し

はと森の
葉と

今

あまの

あまの

あまの

あまの

あまの

あまの

あまの

あまの

Shigenaga

おのづからいふ

ふとちやい
うのうまき
おのづからい
のうまき
まうい
のうまき
四五月も
のうまき
のうまき
のうまき
のうまき
のうまき
のうまき
のうまき
のうまき



おのづからい

ふとちやい

おのづからい

ふとちやい

おのづからい

ふとちやい

おのづからい

ふとちやい

おのづからい



北尾重政画

Shuncho

ありたまふも重し内庭
 み竹の青とをまに
 けりて みるまに
 蘭をわくふみまに
 下相のまをて
 かりて みるまに
 てして上をに
 まして塗まに
 七日すまに
 針り出に
 釜り入湯
 の中よ
 暖ほに
 て



北尾重文画

おのりし家 八

五条とけら
 せりて
 けり
 みるま
 みるま
 みるま



春章画

Shunsho

源氏物語のちりめり
 ことごとく
 志す所も衣
 妻の製し
 りたり唐
 の大具
 帝九行
 とよ文
 のりり
 五細
 しり我
 大己
 活古
 色か
 世去
 積麻
 をて
 煙香
 此糸
 りり
 三徳

勝川春章回



源氏百人一首錦織

志す所も衣
 妻の製し
 りたり唐
 の大具
 帝九行
 とよ文
 のりり
 五細
 しり我
 大己
 活古
 色か
 世去
 積麻
 をて
 煙香
 此糸
 りり
 三徳

天明六年丙午正月吉日

東都日本橋南三町目

書林

前川六九衛門版



tosangusa
(silk-graving
etc.)
by Shunsho and
Shigemasa.
0404